

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		石巻市かもめ学園 児童発達支援事業				公表日	2026年 3 月 24 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・活動場所を区切るなど環境を工夫している	・7人でバンバン、テーブルが置けない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・状況に合わせて人数を調整している	・日によっては職員数が少ないと感じる。特に放課後等デイサービスと合同の時に感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・写真やイラストを用いたスケジュールボードを使って予定確認を行っている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・各部屋に加温器を設置するなど環境を配慮している	・室内温度の調節は難しく、心地よくとは思えないが、可能な限り調整出来ている ・個別が遊びスペースと一緒になので他児を気にして集中できない時もある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・子どもの様子に応じて別室を使っています	・状態に応じて廊下や別室への移動など使用できる環境になっている ・部屋数は少ない	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・毎月の班会議、職員会議、ケース会議にて振り返りを行っています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年度保護者、従業者アンケートを実施し、業務改善に努めています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・職員会議等で意見共有の時間を設けています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・福祉工房による第三者評価を実施しています		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・みやぎスクエアサポートのコンサルテーションを受けています		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・法人ホームページにて公開しています		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・モニタリングを実施し、課題を分析したうえで個別支援計画を作成しています	未記入1	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・各担当と情報を共有し個別支援計画を作成しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・職員に共有されています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・PEP3Rや遠城寺式乳幼児発達検査等を用いて客観的なアセスメントを行っています	未記入1	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿った個別支援計画を作成しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・班会議にて活動を決め、職員会議にて他の職員の意見も取り入れながら立案しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・固定化されている部分もあるため、検討を行っていく	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・状況に応じた支援を心掛けています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎朝打合せを行い、その日の活動や支援内容を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・都度行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・支援後に記録を取り、支援の振り返りを行っています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・主担当や児の担当など、本人を理解している職員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・協力医療機関と連携を取っている	未記入1
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・併行利用児が在籍している。引継ぎなど情報共有も行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・引き継ぎ書を作成し、引継ぎ先への情報提供を欠かさず行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2			未記入4
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		・地域のこども園へ保護者と一緒に見学等を行っている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・親子登園日やお迎えの際に一日の様子を共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・毎年6回コースでペアレントプログラムを保護者向けに実施している		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・丁寧な説明を心掛けています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・保護者、本人の意向を確認し、個別支援計画に反映しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・保護者からの同意を経て個別支援計画に沿った支援を実施しています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・都度要望に応じて面談を設け助言と支援を行っている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		・お茶会、茶話会を実施している	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・ 都度要望に応じて適切に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・ 月に一度のすくすくだより（児童発達支援事業予定表）を発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・ 個人情報に記載されたファイル等は施錠できる場所に保管をしている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・ 筆談等必要に応じた配慮を行います	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		・ 町内会と連携を図っています	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・ 各災害に対してのマニュアルを策定し、定期定期に避難訓練等を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・ BCPに応じた対応を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・ 服薬投与依頼書に沿って対応をしています	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・ 医師の指示書に基づいた対応を行います	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・ 安全管理のもと支援を行っています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・ 災害マニュアルを保護者にも配布しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ 職員会議にてその月のヒヤリハットを共有しています	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・ 法人の虐待防止委員会、毎月職員会議内で虐待防止委員会を開催し、対応について勉強を行っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・ 本人、保護者へ説明と個別支援計画に記載の上やむを得ない場合に身体拘束を実施。実施後は記録と保護者へ報告を行う。その後同じような事案が発生した場合に身体拘束にならないようにどのようにすればよいのか職員で検討している		